



# 子どもの森づくり通信

発行：NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク

J P 子どもの森づくり運動  
参加園月例会報  
(2021年6月号)

〒146-0082 東京都大田区池上1-3-4 tel:03-5755-3213 fax:03-5755-3081  
http://www.kodomono-mori.net mailto:info@kodomono-mori.net

「J P 子どもの森づくり運動」とご縁をさせていただいた方々に、  
活動情報をお送りさせていただいております。ご意見など賜れば幸いです。

<今月の1枚>



「子森通信」2021年6月号をお送りします。

今月号では、今年度上半期にお送りする重要なオンライン講座のご案内と、  
「東北復興グリーンウェイブ2021」の東北での植樹会のレポートをお送りします。

写真は、全国から届いた東北のどんぐりの苗木です。

大切に育てていただき、ありがとうございました。

(目次)

1. 「自然・環境体験講座全国キャラバン2021オンライン講座」参加者募集のご案内
2. 「東北復興グリーンウェイブ2021」岩手県大槌町「つつみこども園」植樹会レポート
3. 「園庭緑化運動」リレーエッセイ (2021年6月号)

## ■「J P 子どもの森づくり運動」とは

今、子どもたちは、高度な情報化社会の中でバーチャルな環境に取り囲まれ、本物の自然体験活動から遠ざけられています。しかしながら、子どもたちは、変化に富んだ自然体験活動の中でこそ、五感を通じて豊かな感性や健全な環境意識、そして子ども本来の生きる力を育みます。「J P 子どもの森づくり運動」は、NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク（「子森ネット」）が「日本郵政グループ」との協働体制で、全国の保育園・幼稚園・こども園を拠点に、一貫した森づくり活動を通じて幼児期の子どもたちに自然体験活動と環境学習の場を提供しようという全国運動です。

## ■「J P 子どもの森づくり運動」運営体制

・運 営 : NPO法人 子どもの森づくり推進ネットワーク（「子森ネット」）

・特別協賛 : 日本郵政グループ

・主な後援/協力/連携団体

(公社)全国私立保育園連盟

NPO法人 富良野自然塾

(公社)大谷保育協会

(公社)こども環境学会

保育環境研究所ギビングツリー

国際校庭園庭連合日本支部

(公社)国土緑化推進機構

(一社)日本森林インストラクター協会



## 1. 「自然・環境体験講座全国キャラバン2021オンライン講座」参加者募集のご案内

J P子どもの森づくり運動では、今年度も自然・環境体験活動のスキルアップを目指す「自然・環境体験講座全国キャラバン2021」を実施することとし、参加者の募集を開始します。なかなか改善されない**感染症状況を踏まえ、今年度前半は、オンライン（ZOOM）講座でお送りします。**講座では、幼児(少)期の自然・環境体験活動における、\*コロナ禍での感染症対策、\*危険予知そして\*多様な自然・環境体験活動の意義について、3回に渡って学びます。(公社)こども環境学会さんのご協力で、素晴らしい方々に講師をお引受けいただき、本当に意義ある講座となりました。**感染症対応の厳しい保育の期間を、「保育力」を高めるスキルアップの期間として前向きに活用することを目指す研修講座です。**是非、ご参加いただけますようご案内申し上げます。

### ●開催概要

- |                             |                   |
|-----------------------------|-------------------|
| 1) 主催：NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク | 4) 募集対象：保育者、保育関係者 |
| 2) 特別協賛：日本郵政グループ            | 5) 参加費：無料         |
| 3) 協力：(公社)こども環境学会           | 6) 募集人数：各講座先着30名  |



### ●開催講座

#### 【オンライン7月講座：体験活動における感染症対策】

- 日時：2021年7月17日(土)13:30～15:00
- 講師：帝京大学 医療技術学部看護学科 准教授 三木 祐子先生
- 講師からのメッセージ：子どもを感染症から守ることは、周囲の大人の感染症に対する知識と意識、そして予防行動が大切になります。感染症対策をしながら、子ども達が自然の中で思いっきり遊べる手助けになればと思います。
- 募集締切り日：2021年7月9日(金)



#### 【オンライン8月講座：保育のための安全対策講座～屋外保育における危険予知～】

- 日時：2021年8月6日(金)14:00～16:00
- 講師：札幌大谷大学短期大学部 保育科准教授 田中 住幸先生
- 講師からのメッセージ：屋外での保育活動をテーマに、専用のイラストシートを用いた危険予知トレーニングを行います。保育に活かせるリスクアセスメント（危険に対する評価）の手法を確認しましょう。
- 募集締切り日：2021年7月30日(金)



#### 【オンライン9月講座：子どもと自然～多様な自然体験が子どもを育む～】

- 日時：2021年9月9日(木)14:00～15:30
- 講師：東京学芸大学 名誉教授 工学博士 小澤 紀美子先生
- 講師からのメッセージ：子どもは未来を拓く天才です。自然の中で好奇心いっぱいにも多様な体験を重ねて、「根っこを育み」（見えない能力）、幹と枝をはり「葉っぱをつける」（見える知性）基礎を育みましょう。
- 申し込み締切り日：2021年9月6日(金)



### ●参加申し込み方法

- 下記申し込み用紙の項目にご記入の上、子森ネットまでメールからXにてお申し込み下さい。  
折り返し、お申込みアドレス宛、ZOOMご招待URLをお送りします。
- メール文に、申し込み用紙の項目に対応する必要事項をご記入いただき、子森ネットまでお送りいただいても結構です。
- ホームページからもお申し込みいただけます。⇒ <https://kodomonono-mori.net/archives/9376>

★お申し込み・お問い合わせ先：NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク（子森ネット）  
Tel:03-5755-3213 fax:03-5755-3081 Mail:info@kodomonono-mori.net

## 2. 「東北復興グリーンウェイ2021」岩手県大槌町「つつみこども園」植樹会レポート

「東日本大震災」から10年となる2021年6月7日(月)に、J P 子どもの森づくり運動「東北復興グリーンウェイ」(以下「東北復興グリーンウェイ」)の植樹会が、岩手県大槌町「つつみこども園」近くの苗畑において開催されました。植樹会に向けて、今年も、東北のどんぐりの苗木が、全国24の参加園から199本届きました。以下、ご主催いただいた「つつみこども園」芳賀園長先生から届いたレポートをご紹介します。活動の詳細は、ホームページをご覧ください。



午前10時から植樹会の開会式が始まりました。まずは主催者ごあいさつとして、社会福祉法人堤福社会常務理事 芳賀潤さんから、『3.11の東日本大震災から10年の節目に、全国の子どもたちが大切に育ててくれたとんぐりが戻ってきて、それを引き継いで子どもたちが育て被災した場所に植樹するとても素敵なストーリーです。子森ネットさん、日本郵政グループさん、大槌町さん、またこの苗畑を提供頂いた川勝商店さんに感謝申し上げます。』とごあいさついただきました。



続いて、ご来賓ごあいさつとして、大槌町副町長 北田竹美さんからごあいさついただきました。北田副町長さんからは、『大槌町での初めての「東北復興グリーンウェイ」活動として、無事に植樹会が開催されたことを喜ばしく思います。この植樹会をきっかけとして、全国の子ども達と大槌町の子ども達の絆がより深まることを、強く願っております。』とのメッセージをお送りいただきました。

最後に、活動を共に推進していただいている日本郵政グループからは、地元の吉里吉里郵便局局長 中村和也さんから応援メッセージをいただき、植樹活動が始まりました。

\* 大槌町情報：今回、植樹会が開催された岩手県大槌町では、「東日本大震災」の鎮魂・追悼、さらに将来世代への教訓を語り継ぐ場として「(仮称)鎮魂の森」の造成が計画されており、現在、「東北復興グリーンウェイ」との連携もご検討いただいています。



お父さんお母さんたちも参加して、苗木が大きく育つことを願ってみんなで一生懸命植えました。



苗畑への植樹会を終えて、みんなでどんぐりのポーズで記念撮影です。終了後、園庭に設営したミニ苗畑にも苗木を植えました。

### 3. 「園庭緑化運動」リレーエッセイ (2021年6月号)

「子森通信」では、毎年、保育・幼児教育において、優れた研究や活動に取り組んでいらっしゃる4人の方々にリレーエッセイをお願いしております。「子森通信」2021年4月号から6月号は、公益社団法人子ども環境学会 代表理事 仙田 満先生にお願いしました。今月号が最終回のご寄稿です。(写真提供：株式会社環境デザイン研究所)

#### こども施設の設計者の選び方

環境建築家 仙田 満



公立の施設の設計者の選定方法には大きく2通りある。1つは設計入札といって設計金額の多寡によって選ぶ方法、もう1つはコンペ・プロポーザルといってアイデアによって選ぶ方法である。かつては随意契約といって行政が特定の設計者を指名して発注する方法も多くとられていたが、1990年代初めより政治との癒着という問題が起こったことにより、敬遠されるようになった。

現在、我が国の会計法・地方自治法では設計のような知的生産行為も、物を購入する場合と同様に対価の競争によって選定すること(入札)を原則としている。対価の競争のみによる選定が行われると、魅力のあるデザイン、アイデアが創出されず、利用者に魅力的な施設をつくるのが難しくなる。海外で入札という選定方法がとられている国は少ない。ヨーロッパではすべてプロポーザル・コンペ、アメリカではQBSという質の評価(面接を含む)で選ばれている。中国はオリンピックをきっかけに国際コンペを多数行い、世界中の知恵を集め、今や設計、デザインの分野の先進国の1つに名を連ねている。

近年、我が国の子ども、若者の自殺率が高い。春休み、夏休み明けにその数は多くなるそうだ。直接的な原因は学業不振やいじめだと言われているが、私は学校が子どもにとって魅力的な居場所であれば、「学校に行きたい」と思えるような場所であれば、その数を減らすことができるのではないかと考える。学校という空間が閉鎖的な、閉じ込められているように感じる空間になっていないだろうか。子どもの心、体を開放できる学校づくりを進めていくべきだ。学校(校舎、校庭)をつくるためにはランドスケープ、インテリア、照明、構造、サイン、温熱環境や換気等、さまざまな分野のプロフェッショナルの協同作業が必要だ。そして建築家は全体の舵取りの役割を担う。



すぐれた建築家が選定されることによって、すぐれたデザイナーが集まり、魅力的な学校をつくることができる。そのためにはプロポーザル・コンペを行い、アイデアを競い合うことが重要だ。優れたアイデアに対する投資は、未来へとつながる。



公共施設の設計者選定は民間施設の設計者選定にも影響を及ぼす。そういう意味で、我が国の会計法・地方自治法の改正をすべきと訴えている。子どもの生活環境をいかにつくるべきか、知を結集すべきと考えている。

#### 【仙田 満先生プロフィール】

公益社団法人子ども環境学会 代表理事

東京工業大学名誉教授

株式会社環境デザイン研究所 会長

★information : 仙田 満先生が代表理事を務めておられる(公社)子ども環境学会さんから、「2021年全国大会(長野)」の参加者募集のご案内です。詳細は、同会ホームページをご参照下さい。⇒<https://www.children-env.org>